

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	地域貢献として町内会を対象に認知症の勉強会を実施し、大変好評であった。地域の方々の中には実際に介護で悩んでいる方等がおいでた。勉強会の他にも地域貢献できる私達の役割があるのではないか?と考える。	①グループホームだけでなく、法人全体として地域住民が抱える悩みや相談をゆっくり聞いてあげられる体制が取れる。 ②地域貢献に繋がる取り組みが出来る。	①法人全体他、ホーム内で認知症の勉強会を実施し、職員全体の知識向上に努める。 相談窓口を作り気軽に相談できる場所を作る。 ②運営推進会議を通して、地域に求められているもの、私達に出来る事は何か?等を積極的に問いかけ、出来る限り取り組めるように対応する。	12 か月
2	35	併設しているデイサービスとは、利用者・職員と共に避難訓練等を実施できているが、同一敷地内にある系列施設との協力体制が取れていない。	系列施設との合同避難訓練が実施できる。	①各事業所の防災マニュアルを確認し、定期的な話し合いを持つ時間を作る。 ②時間は掛かると思うが、まずは隣接する『春水』と共に訓練を行う。 ③最終的には各事業所ごとのマニュアルの他に、系列施設で災害が起きた場合のマニュアルが完成できると良い。	24 か月
3					か月
4					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。